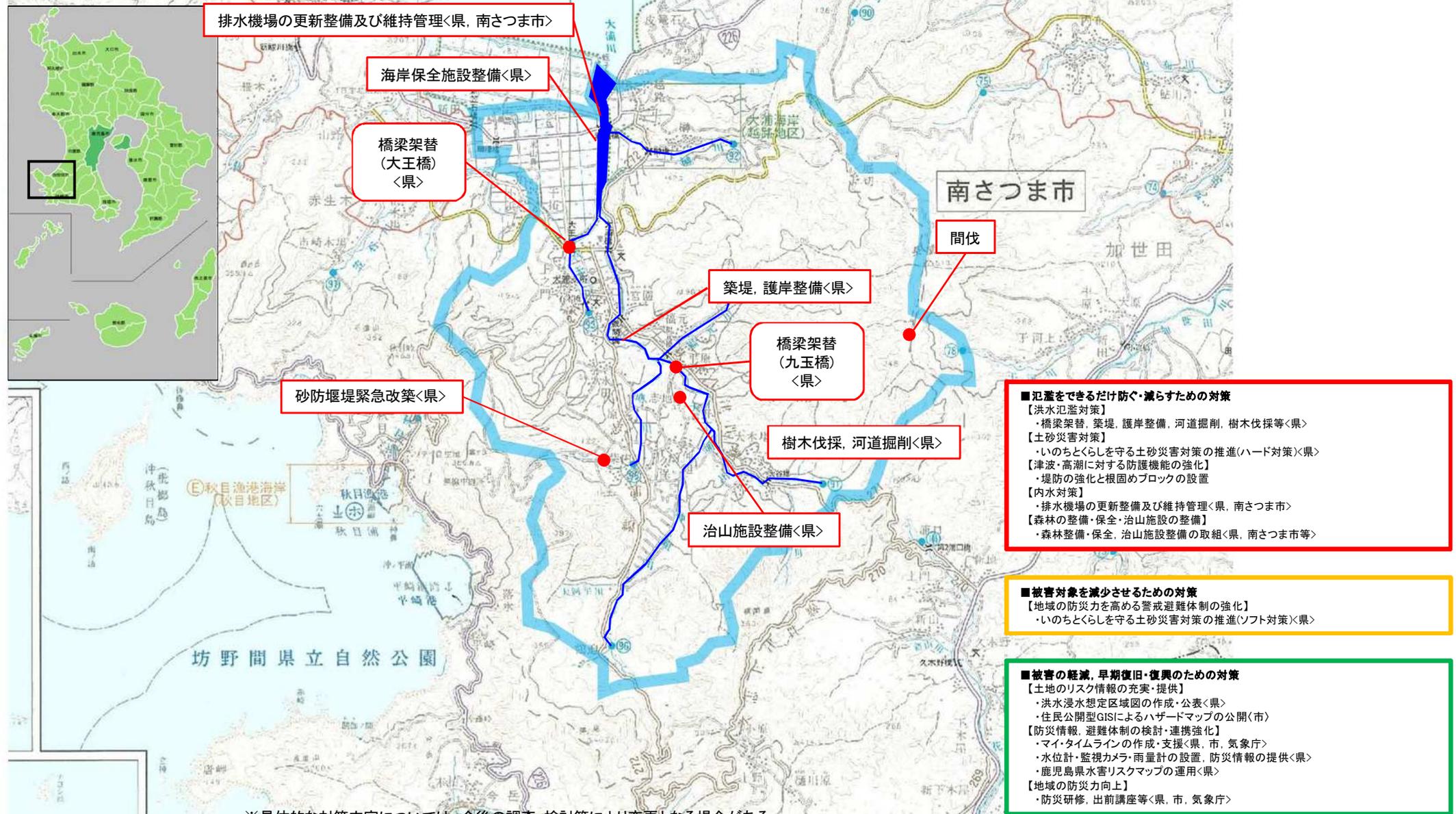


大浦川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、大浦川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、県管理区間においては、年超過確率1/30の規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

大浦川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

- 大浦川水系では、流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】 流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした大王橋・九玉橋架替、築堤、護岸整備、河道掘削等を主に実施。
土砂災害による流下能力不足防止を目的とした砂防堰堤整備、森林の整備・保全、治山施設の整備を実施。
津波・高潮に対する防護機能を強化するため、堤防の強化と根固めブロックによる補強を実施。
浸水被害を解消するため、内水排除を目的とした排水機場の更新整備を実施。
 - 【中期】 流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした九玉橋架替、護岸整備、河道掘削等を主に実施。
 - 【中長期】 流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした河道掘削を主に実施。

区分	対策内容	事業主体	工 程		
			短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策(橋梁架替, 築堤, 護岸整備, 河道掘削, 樹木伐採等)	鹿児島県	大王橋・九玉橋架替, 築堤, 護岸整備, 河道掘削, 樹木伐採 等		
	土砂災害対策(ハード対策)	鹿児島県	三本松川, 塘川, 仲組川 等		
	森林の整備・保全・治山施設の整備	鹿児島県, 南さつま市, 等	森林整備, 治山施設整備による土砂流出抑制対策		
	津波・高潮に対する防護機能の強化	鹿児島県	堤防の強化 等		
	内水対策	鹿児島県, 南さつま市	排水機場の更新整備 等		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害対策(ソフト対策)	鹿児島県	土砂災害警戒区域等の指定 等		
被害の軽減, 早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	鹿児島県, 南さつま市	洪水浸水想定区域図の作成・公表 等		
	防災情報, 避難体制の検討・連携強化	鹿児島県, 南さつま市, 気象庁	マイタイムラインの作成・支援, 水位計・監視カメラ・雨量計の設置, 防災情報の提供 等		
	地域の防災力向上	鹿児島県, 南さつま市, 気象庁	防災研修, 出前講座 等		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

大浦川水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

大浦川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

河川整備箇所【鹿児島県】

○洪水氾濫対策として、大浦川中流域や大王川では護岸や橋梁架替等の整備を進めていく。また、大浦川水系の樹木繁茂や土砂堆積の流下阻害等で洪水氾濫による被害が生じるおそれのある箇所について、樹木伐採や河道掘削を実施する。

大王川
・ 整備内容: 橋梁架替, 築堤, 護岸, 河道掘削



大浦川
・ 整備内容: 築堤, 護岸, 橋梁架替, 河道掘削



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	橋梁架替, 築堤, 護岸整備等	鹿児島県	[Red arrow pointing right]		
		河道掘削, 樹木伐採	鹿児島県	[Red arrow pointing right]		

大浦川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進（ハード対策）【鹿児島県】

○社会・活動を支える地域の基礎的なインフラの集中保全

・ハード施設により確実に「いのち」を守ることに加え、物流ネットワークや電力、水道、通信、学校、病院など「くらし」に直結する基礎的なインフラを集中的に保全



砂防堰堤緊急改築【塘川】

砂防緊急改築事業(塘川)



○土砂・洪水氾濫対策の推進

・上流域から流出した多量の土砂が谷出口より下流の河道に堆積し、河床上昇・河道埋塞により引き起こされる土砂、泥水及び流木の氾濫発生を防止



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進	鹿児島県	▶		

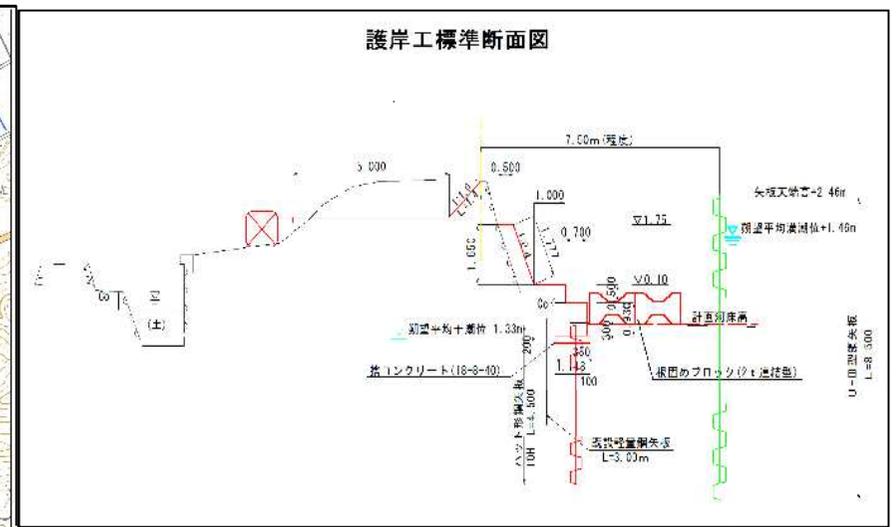
大浦川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

海岸保全施設（河川護岸兼用）の整備【鹿児島県】

○大浦川の河口に位置する堤防は、海岸保全施設となっており、津波・高潮・洪水時には大浦干拓地内の農地をはじめ国道等の公共施設も防護している。

○津波・高潮に対する防護機能の強化を図るため、堤防の強化と根固めブロックによる補強整備を行い、洪水時の防護機能の強化にも寄与する。



着工前

完成



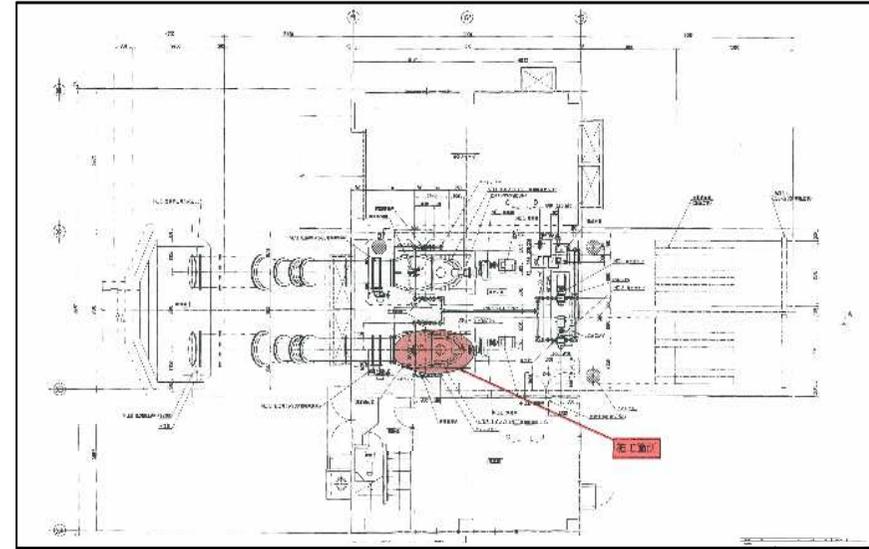
区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防強化	護岸整備	鹿児島県	➡		

大浦川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

排水機場（大浦）の更新整備【鹿児島県】

- 南さつま市大浦町には水田の湛水防除を目的とした排水機場が1箇所設置済み。
- 排水機場は、大雨の際に水田の湛水防除はもとより国道等の冠水対策にも寄与している。
- 機能保全計画に基づいた確かな更新整備を行うことで、安定した内水対策に貢献する。



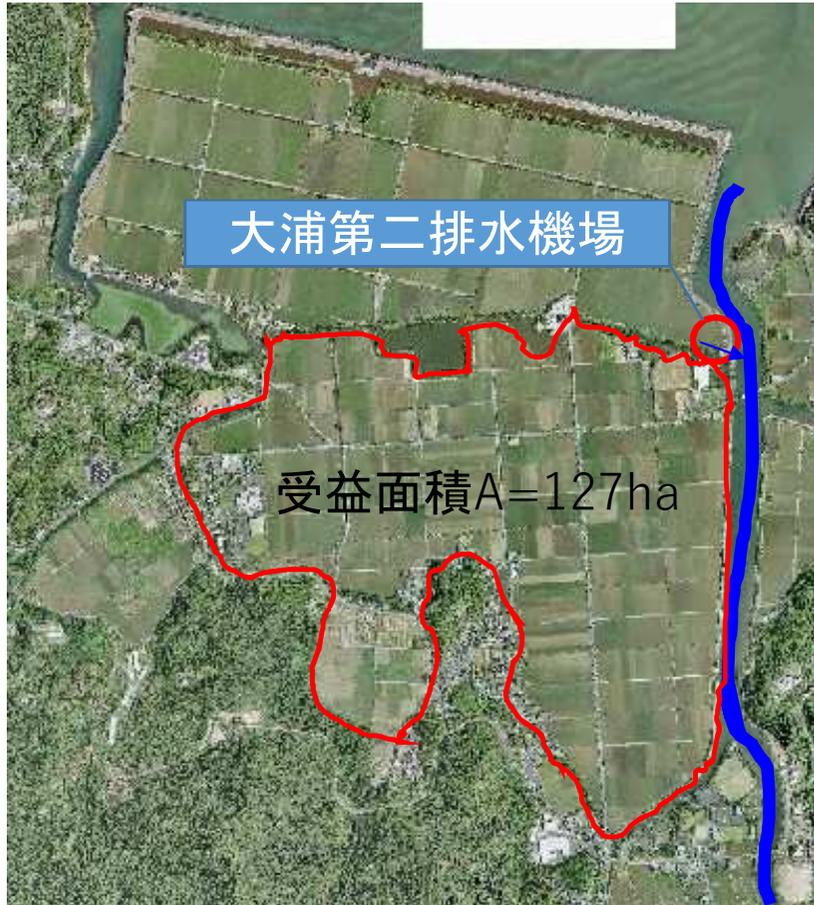
区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	内水対策	排水機場の更新整備	鹿児島県	▶		

大浦川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

排水機場（大浦）の更新整備及び維持管理【鹿児島県，南さつま市】

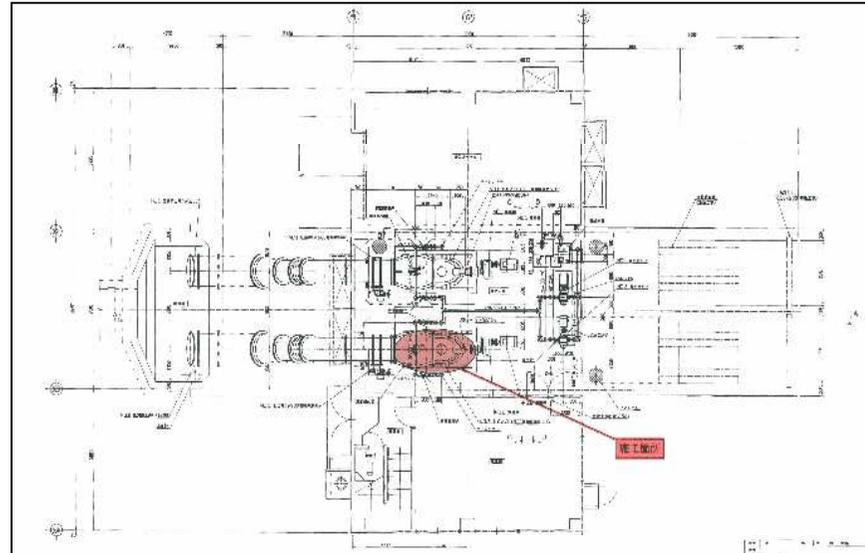
- 南さつま市大浦町には水田の湛水防除を目的とした大浦第二排水機場が設置済み。
- 排水機場は、大雨の際に水田の湛水防除はもとより国道や集落等の冠水対策にも寄与している。
- 機能保全計画に基づいた確かな更新整備や維持管理を行うことで、安定した内水対策に貢献する。



機場名	吐出量	施設管理者
大浦第二排水機場	2.5m ³ /s	南さつま市



更新整備の状況



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	内水対策	排水機場の更新整備及び維持管理	鹿児島県，南さつま市	▶		

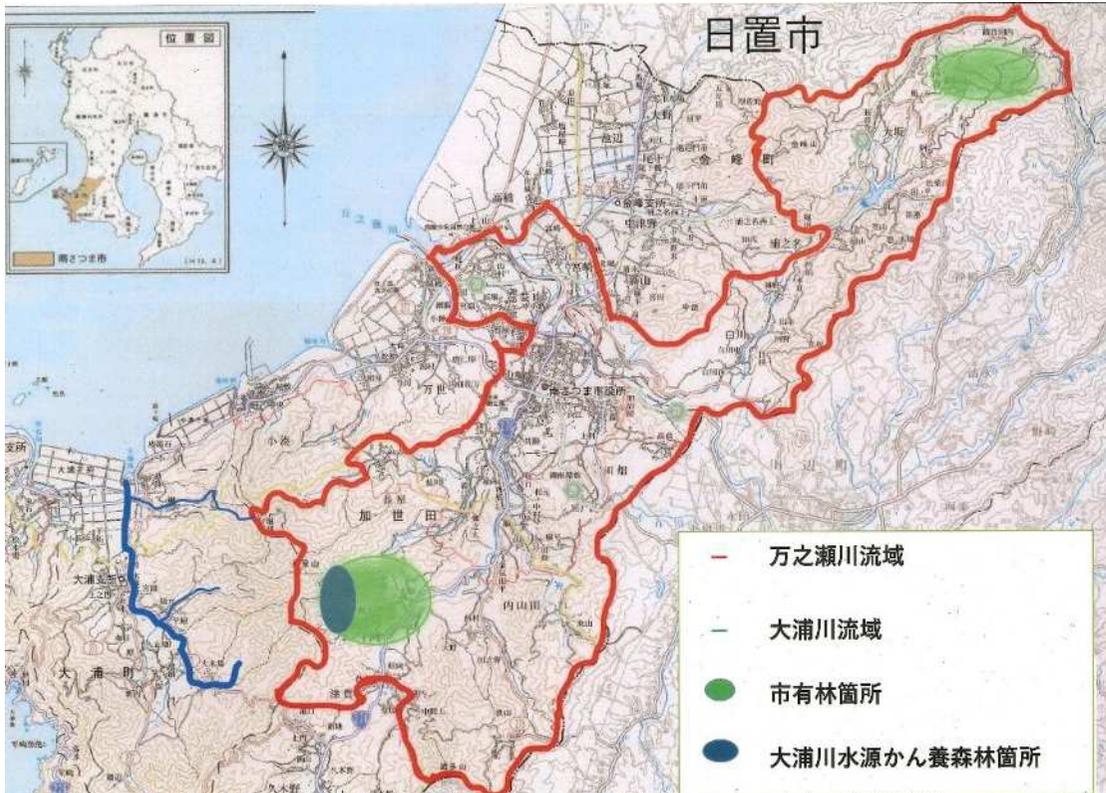
大浦川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

森林整備による流出抑制対策【南さつま市農林振興課】

■市有林管理事業等による森林の整備・保全【市の事例】

- ・市の事業等において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・大浦川流域における、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林整備・保全、治山施設の整備	森林整備による流出抑制対策	南さつま市	→		

大浦川水系流域治水プロジェクト

被害対象を減少させるための対策

大浦川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進（ソフト対策）【鹿児島県】

○地域の防災力を高める警戒避難体制の強化

- ・土砂災害警戒区域等の指定を進め、認知度向上を図る。
- ・リスク情報をより分かりやすく伝えることで地域住民の理解を深めるとともに、自助・共助を強力に支援することで、地域全体の防災力を向上（「土砂災害警戒区域等マップ」、「河川砂防情報システム」として県ホームページに公表）

土砂災害警戒区域等の指定

土砂災害警戒区域 : 23,842箇所
土砂災害特別警戒区域 : 20,462箇所
(令和7年3月末時点)

土砂災害防災訓練

土砂災害に関する
出前講座



垂水市



喜界町立早町小学校



志布志市



南種子町立島間小学校

土砂災害警戒区域、雨量、土砂災害警戒情報などのリスク情報の提供

鹿児島県土砂災害警戒情報の発表基準の変更

○鹿児島県と鹿児島地方気象台は、土砂災害警戒情報の発表基準を見直し、令和4年11月24日から新たな基準により運用します。

土砂災害警戒情報の基準が新しくなります！

土砂災害警戒情報

●鹿児島県と鹿児島地方気象台と共同で、土砂災害の発生の危険性が高まったと判断した場合に、土砂災害警戒情報を発表しています。

土砂災害警戒発表の考え方

【発表のタイミング】
避難に必要な時間を考慮し、土砂災害警戒情報の発表基準に達すると予想される概ね2時間前に発表する。

基準の見直しポイント

- 近年の降雨データ及び災害実績を反映（平成18年～令和2年）
- 従来の5kmメッシュ毎の基準から1kmメッシュ毎の基準に細分化することでより細やかな地域単位で危険度を判定

- 定常的に人が活動していないなど、重大な被害を及ぼす土砂災害の危険性が認められないメッシュを土砂災害警戒情報の判定から除外

鹿児島県河川砂防情報システム



鹿児島県土砂災害警戒区域等マップ



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	地域の防災力を高める警戒避難体制の強化	いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進	鹿児島県			

大浦川水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

大浦川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

気象庁HP利用促進、防災気象情報の改善【気象庁】

線状降水帯の予測精度向上に向けた取組（情報の改善）

観測の強化、予測の強化の取組の成果を順次反映することで、線状降水帯に関する情報の段階的な改善を実施。

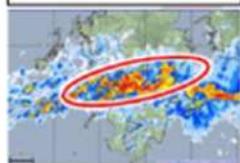
- 令和4年6月、線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけ（広域を対象）を開始。
- 令和5年5月、線状降水帯の発生をお知らせする情報（最大30分程度前倒して発表）を開始。

令和6年5月から、半日程度前からの呼びかけについて、対象地域を府県単位に絞り込んでの運用を開始。

線状降水帯による大雨の可能性をお伝え

「明るいうちから早めの避難」・・・段階的に対象地域を狭めていく

令和3(2021)年
線状降水帯の発生をお知らせする情報
(令和3年6月提供開始)



線状降水帯の雨域を楕円で表示

令和4(2022)年～

広域で半日前から予測
(令和4年6月提供開始)

令和6(2024)年～

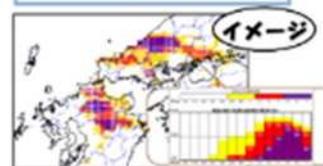
府県単位で半日前から予測
(令和6年5月27日提供開始)

次期静止
気象衛星
令和11年度
運用開始予定



令和11(2029)年～

市町村単位で危険度の把握が可能な危険度分布形式の情報を半日前から提供



イメージ

令和5(2023)年～

最大30分程度前倒して発表
(令和5年5月提供開始)

令和8(2026)年～

2～3時間前を目標に発表

線状降水帯の雨域を表示

「迫りくる危険から直ちに避難」・・・段階的に情報の発表を早めていく

※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ

鹿児島県（奄美地方を除く）

令和6年の実績

呼びかけを行った回数 4回

線状降水帯の発生 2回

適中率 50%

捕捉率 100%

呼びかけを行った4回に対して、3回で3時間降水量最大値が100ミリを超えた



呼びかけを行った場合、線状降水帯が発生しなくても大雨となったことに留意

この呼びかけが行われたときには、大雨災害への心構えを一段高めていただくことが重要

国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討、連携強化	気象庁HP利用促進 防災気象情報の改善	気象庁	→		

大浦川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

気象庁HP利用促進、防災気象情報の改善【気象庁】

警戒レベル相当情報の体系整理（情報の改善）

◎ シンプルでわかりやすい情報体系・名称に整理 ※令和8年度出水期からの運用開始予定

【洪水】：氾濫による社会的な影響が大きい河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫を対象とし、河川ごとの情報とする。これ以外の河川の外水氾濫については、内水氾濫と併せて市町村ごとに発表する【大雨浸水】に関する情報とする※1。

【土砂災害】：発表基準の考え方を統一し、災害発生の確度に応じて段階的に発表する情報とする。

【高潮】：潮位に加えて沿岸に打ち寄せられる波の影響を考慮し、災害発生又は切迫までの猶予時間に応じて段階的に発表する情報とする。

	洪水に関する情報 「洪水危険度」		大雨浸水に関する情報 「大雨危険度」※1		土砂災害に関する情報 「土砂災害危険度」		高潮に関する情報 「高潮危険度」	
	氾濫による社会的影響大の河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫		内水氾濫及び左記以外の河川の外水氾濫					
発表単位	河川ごと		基本的に市町村ごと		基本的に市町村ごと		沿岸ごと又は市町村ごと※2	
警戒レベル相当情報※4	5相当	レベル5 氾濫特別警報※3	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報※3	レベル5 高潮特別警報※3	レベル5 高潮特別警報※3
	4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	レベル4 高潮危険警報	レベル4 高潮危険警報
	3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	レベル3 高潮警報	レベル3 高潮警報
	2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	レベル2 高潮注意報	レベル2 高潮注意報

左記情報名称のポイントをシンプルに表現
→将来的に「警戒レベル」が社会に十分に浸透した際には、以下のようなシンプルな形の名称を検討することも一案。

	洪水危険度	大雨危険度	土砂危険度	高潮危険度
警戒レベル相当情報	洪水レベル5	大雨レベル5	土砂レベル5	高潮レベル5
4相当	洪水レベル4	大雨レベル4	土砂レベル4	高潮レベル4
3相当	洪水レベル3	大雨レベル3	土砂レベル3	高潮レベル3
2	洪水レベル2	大雨レベル2	土砂レベル2	高潮レベル2

・ 情報名称の最終決定は、法制度や実際の情報の運用、伝え方なども踏まえ、気象庁・国土交通省が行う。

※1 警戒レベル相当情報への位置づけについては、関係機関で今後の課題として検討。

※2 発表単位をどうすべきかについては、情報利用者の視点も踏まえつつ、引き続き関係機関で検討。

※3 洪水予報河川または水位周知河川、高潮に関する情報の対象沿岸において氾濫の発生を確認した場合、その旨を氾濫特別警報または高潮特別警報の文章情報等に明記。

※4 警戒レベル相当情報とは、国・都道府県が発表する防災気象情報のうち、居住者等が自ら行動をとる際の判断に参考となる防災気象情報と5段階の警戒レベルとを関連付けるものである。警戒レベル相当情報が発表されたとしても必ずしも同時刻に同じレベルの避難情報が発令されるものでない。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討、連携強化	気象庁HP利用促進 防災気象情報の改善	気象庁			

大浦川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

出前講座・防災学習の実施【気象庁】

気象庁 eラーニング教材 「大雨のときにどう逃げる」

- 新しい生活様式での**オンライン学習**に対応(教材は気象庁HPで公開)
- **マイ・タイムライン**の事前学習に最適
- 個人学習だけでなく、自治会や学校などでも活用できる教材
- 難しく考えず、**気楽**に取り組むことが可能

アドレス

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/el/dounigeru.html>



大雨の時にどう逃げる

自らの命は自らが守る

「避難」の基本

身近な災害リスクを理解し、的確な避難行動をとる

「自らの命は自らが守る」
基本の知識を動画で学ぶ

約17分

大雨の時にどう逃げる

個人ワーク

あなたの「避難」

ワークシートを使って避難行動を整理しよう

自分の避難行動を
ワークシートに整理

約30分



大雨の時にどう逃げる

グループワーク

みんなで意見交換

誤解や、疑問、不安を解消しよう

みんなで意見交換して
自分の避難を再確認

約30～40分

1時間の学習にピッタリ

Web会議でも実施できます

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	気象庁	▶		

大浦川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

出前講座・防災学習の実施【気象庁】



防災教育支援ポータル - 10分で防災 -

福岡管区気象台HP（教材はこちら）
<https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/chosa/education/10mb.html>



10分で防災

- **短時間**で命を守る防災の学習
- **子どもたち自身**で考え、話し合う機会をつくる
- 災害を自分のこととして考える「**きっかけ**」となることを期待
- 難しく考えず、**気楽**に取り組むことが可能
- **4現象**（台風、大雨、地震・津波、火山）の教材を用意

ステップ1 考える①

ワークシート

台風が近づいたときに、
どんなことがおきかと思えますか？

何が起きる	
ここに色々書いてください！	

ステップ1 考える②

ワークシート

台風による災害にあわないために、
どういう行動をとりますか？

何が起きる	どういう行動をする
	今度は、ここに書いてください！

ステップ2 話し合う

他人の考えを聞いて、新たな「気づき」を生み出す

台風が近づいてくると、何が起きると思いますか？

何が起きる	どんな行動をする？
水害がおこる	安全なところにみんなする。
雨がたぶんふる	進路などはあくしほく。
土砂くずれ	水、食べものを準備しておく。
高潮川が溢れ	高いところにいく。
強風	

ステップ3 振り返りとまとめ

通学路のそばを流れる小川。用水路や道路のマンホール。普段は何でもない場所が、突然の大雨で、命を落とす場所に変わることがあります。「自分の身は自分で守る」という意識を身につけましょう。

起きる災害を考える



自分の行動を考える



行動を話し合う



各班の意見をみんなで聞きましょう



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	気象庁			

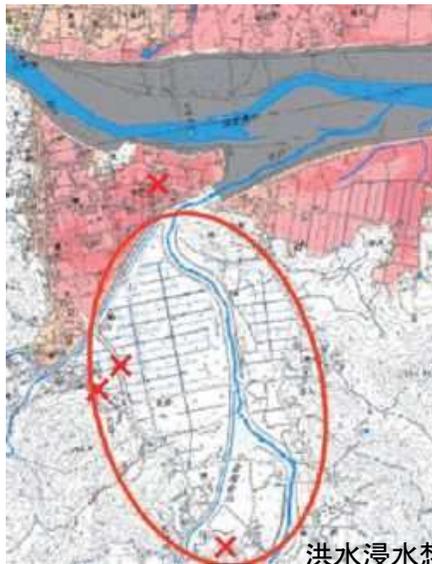
大浦川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

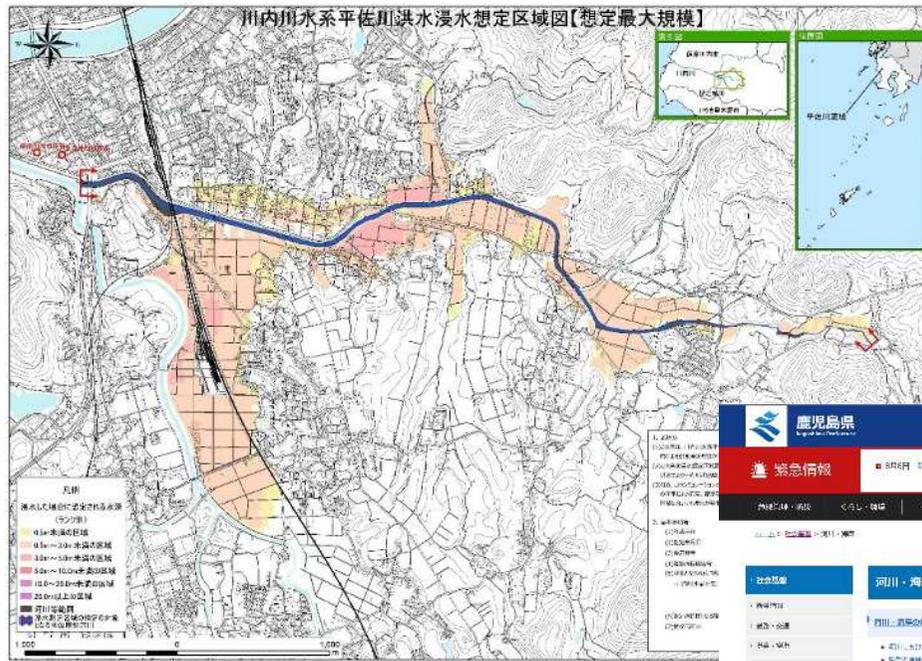
洪水浸水想定区域図の作成・公表【鹿児島県】

- ・ 現在の水防法では、洪水浸水想定区域の設定が洪水予報河川や水位周知河川に限定されており、設定がない河川付近では水害リスクがないと誤解されがちな状況である。
- ・ 令和3年の水防法の改正に伴い、洪水浸水想定区域の設定が洪水予報河川や水位周知河川等だけではなく、住家等の防御対象のあるすべての河川に拡大された。
- ・ 新たに設定が可能となった河川について、洪水浸水想定区域図を作成・公表し、水害リスク情報空白域の解消を図る。

洪水浸水想定区域外で浸水被害があった事例



洪水浸水想定区域の設定がなく、水害リスクが示されていないエリア(水害リスク情報空白域)



洪水浸水想定区域図のイメージ



県HPで公表予定

浸水想定区域図(仙台河川国道事務所)
赤×印は被害発生位置

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実	洪水浸水想定区域図の作成・公表	鹿児島県			

大浦川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

マイタイムラインの作成・支援 【鹿児島県、市、気象庁】

今後、県及び市町村の防災担当職員を対象に説明会を開催予定。
 それを受けて、各市町村において地域住民対象の説明会の開催を検討してもらい
 住民自らが作成していけるよう取り組みを進めていきたい。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	マイタイムラインの作成・支援	鹿児島県、市、気象庁			

大浦川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

水位計・監視カメラ・雨量計の設置、防災情報の提供【鹿児島県】

- 各機関において、防災情報の提供を目的に、水位計・監視カメラ・雨量計を設置しているところである。下図のように大浦川流域内の施設位置を示し、自分が住んでいる地区にはどのような観測機器があるか、そして、自分の身を守るための防災情報として何の情報取得できるか、自らの自助・共助へ繋げるよう、防災意識の更なる高揚を図る。
- また、洪水時における氾濫発生の可能性が高い箇所等の危険箇所や、地先レベルの水位・状況を把握することを目的に、危機管理型水位計・簡易型カメラも設置しており、今後、必要に応じて、追加設置を行っていく。

大浦川流域における
水位計・監視カメラ・雨量計の位置図

大浦川水系内に設置されている各施設数（R6.2末時点）

管理者	水位計		カメラ	雨量計
	水位局	危機管理型		
鹿児島県	-	2	1	1
	-	-	-	-
合計	-	2	1	1



危機管理型水位計



簡易型河川監視カメラ



凡例	
□	水位計, カメラ
▲	水位計
▲●	危機管理型水位計
○	雨量計(県)
●	雨量計(気象庁)

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	水位計・監視カメラ・雨量計の設置、防災情報の提供	鹿児島県			

大浦川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

鹿児島県水害リスクマップの運用【鹿児島県】

・鹿児島県で把握・公表している水害リスク情報(洪水浸水想定区域や浸水実績)について、地図情報上に集約化し、わかりやすく県ホームページに公表(R3.2月末より運用)

<http://www.kago-kengi-cals.jp/kasen/doui.html>



トップページ

トップページ(拡大)

河川名: 重信川
被災年月日: 令和元年7月1日
被災箇所: いちき串木野市大里地内
被災原因: 堤防決壊
浸水実績情報

洪水浸水想定区域

- 洪水浸水想定区域
- 区域表示なし
- 計画規模
- 想定最大規模

浸水実績

- 令和元年7月 浸水区域(80ha)
- 床上浸水(17戸)
- 床下浸水(62戸)

それぞれの枠内をクリックで
詳細メニューの表示

河川名	大浦川	注意事項
被災年月日	令和元年7月1日(豪雨)	被災直前の市町村名は、当時の市町村名となっています。
被災箇所	いちき串木野市大里地内	浸水原因、被害等は、被災時の現地調査、聞き取り等によるものです。
浸水原因	堤防決壊(2ヶ所)	



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	鹿児島県水害リスクマップの運用	鹿児島県	▶		

大浦川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

地域の防災力向上【鹿児島県の事例】

地域の防災リーダー育成

地域防災リーダー養成講座の様子



講義（自主防災組織）



AEDを使用した心肺蘇生法訓練

モデル地区による地区防災計画作成

D I G（災害図上訓練）の様子



防災研修センターによる出前講座

非常持出品について考えよう！！



非常持出品が
家にある人？



異なる重さのリュックを背負ってもらい歩いてもらいました



防災ワンポイント
1. 持ちつぐぐ物
水・食料
2. 自分にとって必要な物
3. 家族・ペットの必需品
4. 貴重品
5. 現金・携帯電話
※3は非常時の1-2 程度



どうだった？

思ったより、軽かったです！！

てく・てく歩こう～

参加人数
240人

その他の取組

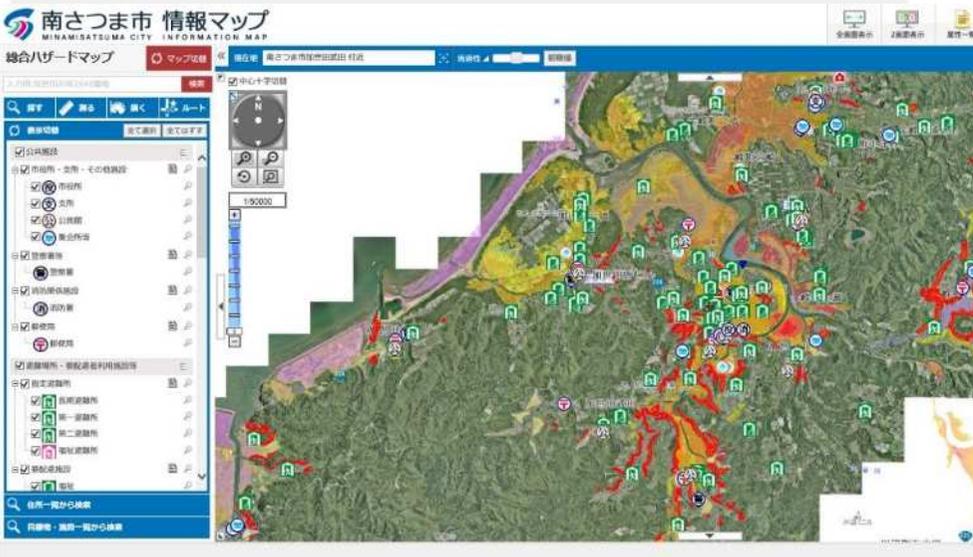
- ・MBCラジオ「防災ワンポイント」
- ・防災・お天気フェア
- ・防災啓発研修会 等

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域の防災力向上	・防災研修、出前講座等	県			

大浦川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

防災ハザードマップの作成・公表【南さつま市】



防災ハザードマップの公表

【目的】

破堤による氾濫等の浸水情報、土砂災害警戒情報や地震による津波浸水情報等と住民避難情報を市民向け公開型GISで提供することで市民サービスの向上、防災意識の向上を図る。

【公表方法】

- ・A4冊子(市内全世帯配布)
- ・住民公開型GIS(パソコン、スマートフォン等)

【提供情報】

- ・指定緊急避難場所、指定避難所
- ・洪水浸水想定区域
- ・土砂災害警戒区域
- ・津波浸水区域
- ・金峰ダム浸水区域
- ・ため池浸水区域
- ・市道網図 等

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ハザードマップ関連	住民公開型GISによるハザードマップの公開	南さつま市			

大浦川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

総合防災訓練の実施・防災研修会の開催【南さつま市】



防災訓練の実施

【目的】

南さつま市地域防災計画に基づき、防災関係機関と地域住民が一体となった訓練を実施し、発災時の応急対応、住民の防災意識の高揚を図る。

【訓練場所】

毎年度 9月開催 加世田地域、笠沙地域、大浦地域、坊津地域、金峰地域の隔年開催

【参加団体】

市、消防、消防団、地域住民、市内事業所、警察署、自衛隊、関係機関 等

防災研修会の実施

【目的】

防災意識の普及啓発と自主防災組織の育成・強化を図る。毎年度1～2回開催

市内:82組織 組織率:89.3%

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水防災意識の醸成	・総合防災訓練の実施、自主防災会等を対象とした研修会の開催	南さつま市	▶		